

科名： 住居環境科

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	時間/週
教育訓練課程	専門課程	建築計画 I	必須	Ⅲ・Ⅳ期	2	2
教科の区分	系基礎学科					
教科の科目	建築計画基礎					
担当教員		内線電話番号	電子メールアドレス		教室・実習場	
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
総合建設業における意匠設計業務 工務店(住宅)における意匠設計業務 設計事務所における意匠設計業務						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
建築空間の計画において、空間の構成、風土と建築、環境問題と建築、人間生活・行動・意識のかかわりについて学びます。	①	空間の構成要素について優れた空間事例を知っている。				
	②	風土と建築の形態の関連性を日本や外国の建築例を知っている。				
	③	現在の地球環境問題を例にあげ持続可能な社会と建築のあり方について知っている。				
	④	人間の知覚、寸法と規模について知っている。				
	⑤	空間の性能と安全、建築計画の進め方について知っている。				
	⑥	作品を通して建築計画の検証方法を知っている。				
	⑦					
	⑧					
	⑨					
	⑩					

授業科目受講に向けた助言	
予備知識・技能技術	建築を構成する部材の名称や役割と組み立て方法、および建築図面の表現方法に関する基本的な知識が必要です。また、歴史的な建築物や建築の関連法規に関する基礎知識をあわせて事前に再整理しておきましょう。
授業科目についての助言	建築設計をおこなうためには、私達人間の暮らし方や知覚などの感覚について理解し、十分にそれを反映させることが肝要です。建築計画Ⅰでは、地域的特性や経済的制約、また社会的条件や文化的条件、デザインなど考えるべき要素は多々あり、その解決策や方法論を具体的な事例の中から学び取ることが重要です。
教科書および参考書	教科書：建築計画テキスト(井上書院) 参考書：コンパクト建築設計資料集成(丸善)
授業科目の発展性	

評価の割合(例)								
指標・評価割合	評価方法	試験						合計
		試験	小テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	
評価割合	授業内容の理解度	70		10		10	10	100
	技能・技術の習得度	60		5				
	コミュニケーション能力							
	プレゼンテーション能力			5		5		
	論理的な思考力、推論能力	10				5		
	取り組む姿勢・意欲						10	
	主体性・協調性							

回数	訓練の内容	運営方法	訓練課題 予習・復習
1週	1.ガイダンス 2.概論 (1) 建築計画とは	講義	建築概論を復習してください。
2週	(2)空間の構成要素	講義	空間の構成要素を復習してください。
3週	3.優れた空間事例 (1) 優れた空間事例(日本)	講義	優れた空間事例(日本)を復習してください。
4週	(2) 優れた空間事例(外国)	講義	優れた空間事例(外国)を復習してください。
5週	(3) 優れた空間事例(ランドスケープ)	講義	優れた空間事例(ランドスケープ)を復習してください。
6週	4.風土と建築 (1) 風土と建築の形態	講義	風土と建築の形態を復習してください。
7週	(2) 日本の建築	講義	日本の建築を復習してください。
8週	(3) 外国の建築	講義	外国の建築を復習してください。
9週	中間試験	講義、試験	試験のための準備を十分おこなってください。
10週	5.地球環境問題と建築 (1) エネルギー・環境問題と建築	講義	エネルギー・環境問題と建築を復習してください。
11週	(2) 持続可能な社会と建築	講義	持続可能な社会と建築を復習してください。
12週	(3) 民家から学ぶ建築	講義	民家から学ぶ建築を復習してください。
13週	6.計画の基礎 (1) 人間の知覚(色・形)	講義	人間の知覚(色・形)を復習してください。
14週	(2) 寸法と規模	講義	寸法と規模を復習してください。
15週	(3) 空間の性能と安全	講義	空間の性能と安全を復習してください。
16週	(4) 計画の進め方	講義	計画の進め方を復習してください。
17週	(5) 建築作品をとおしての建築計画の検証	講義	建築作品をとおしての建築計画の検証を復習してください。
18週	(6) 建築計画のまとめ 期末試験	試験	今まで行ってきた内容の総まとめを行います。